

**富士山火山三県合同防災訓練2014・
合同図上訓練会議開催要領（案）**

富士山火山防災対策協議会作成

1 三県知事・関係省庁災害警戒会議による合同テレビ会議（合同テレビ会議）

(1) 概要

①会議目的・開催趣旨

約2か月前からの噴火の前兆現象やマスコミの報道によって、多くの住民が噴火に対する不安を抱いている。また、噴火警戒レベル3の発表を受けて、富士山火山広域避難計画に基づく避難対応が開始されることとなることから、三県及び関係省庁は、中央防災無線網による合同テレビ会議を開催し、富士山火山の状況を把握、共有するとともに、今後の火山活動の進展に伴う対応や連携の確認などを行う。

②開催時間

実時間 午前8時35分から8時50分まで
(想定時間 10月10日（金）午前10時から10時15分まで)

③会場

山梨県庁、静岡県庁、神奈川県庁、内閣府合同庁舎8号館

④出席者

山梨県知事、静岡県知事、神奈川県知事、関係省庁職員

【司会進行】静岡県危機管理監

【火山活動状況説明】気象庁火山課

⑤状況

- ・富士山直下で発生している前兆現象や気象庁の噴火警戒レベル3の発表により、住民に動揺や不安が広がっている。
- ・今後の火山活動の進展も見据え、三県が情報共有を図り、協力連携して対応していくことを確認する。
- ・内閣府は、関係省庁災害警戒会議を開催し、関係省庁の対応状況等を共有するとともに、今後も連携して迅速な対応を取ることを確認する。
- ・国に対しては、観測体制の強化、大規模噴火の際の支援などを要請する。
- ・三県民に対しては、正確な火山情報や避難方法について情報提供を行い、冷静に対応するよう呼びかける。

(2) 会議次第

- ①開会
- ②火山活動の状況について（気象庁）
- ③政府の対応状況について（内閣府）
- ④三県確認事項について（三県）
- ⑤閉会

2 富士山噴火対策合同会議（火山災害対策合同会議）

(1) 概要

①会議目的・趣旨

国・3県・市町村・関係機関の現地本部等が、協力してより効果的な火山災害対策を実施するため、関係者が火山活動状況、課題及び対応状況を共有するとともに、課題への対応策等について合意形成を行う。

会議は、内閣府大臣政務官（調整中）、静岡県知事、行政機関・公共機関等の関係者が出席のもとで行い、中央防災無線網によるテレビ会議システムで関係県の対策本部に配信する。

②開催日時

実時間 午前8時55分から9時25分まで

（想定時間 10月19日（日）午前10時から10時30分まで）

③会場 静岡県庁別館8階 第1会議室

④出席者

内閣府 大臣政務官（調整中）

静岡県 川勝知事、難波副知事、岩田危機管理監

【司会進行】合同会議事務局長（内閣府防災担当参事官）

富士山火山防災対策協議会構成機関（57機関）

区分	機関名（課名等は省略）
国	内閣府（防災担当）、気象庁（地震火山部、東京管区気象台、甲府地方気象台、静岡地方気象台、横浜地方気象台）、国土交通省（関東地方整備局、中部地方整備局、甲府河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡国道事務所、沼津河川国道事務所）、陸上自衛隊（第1特科隊、第34普通科連隊、第31普通科連隊）
県	山梨県（総務部、企画県民部、県土整備部、警察本部） 静岡県（交通基盤部、危機管理部、警察本部） 神奈川県（安全防災局、県土整備局、警察本部）
市町村	富士吉田市、西桂町、忍野村、富士河口湖町、身延町、沼津市、三島市、富士宮市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町
関係機関	中日本高速道路(株)（東京支社、八王子支社）、富士急行(株)
火山専門家	荒牧重雄氏、池谷 浩氏、鵜川元雄氏、小山真人氏、藤井敏嗣氏、里村幹夫氏

⑤状況

- ・10月19日（日）の朝方より、地震活動がさらに活発化（有感地震も観測）、マグマ上昇に伴うと考えられる山体の膨張（地殻変動）が加速。
- ・午前8時、気象庁は噴火警報を発表（噴火警戒レベルを5に引上げ）し、関係市町村は富士山火山広域避難計画の考え方にに基づき避難指示を発令（噴火警戒レベル4段階から対象地域を拡大）、新たに住民等の避難対応が開始。
- ・午前8時30分には、富士山直下を震源とするM6.0（最大震度5強）の地震が発生。これらのことから、噴火が切迫している状態にあると判断される。
- ・避難対象エリアの住民や一時滞在者等の円滑な避難のため、関係機関が協力連携して対応を進める必要がある。（避難手段・避難ルートの確保、孤立者の救出、降灰除去等）
- ・三県民に対しては、正確な火山情報や避難方法について情報提供を行い、冷静に対応するよう呼びかける必要がある。

(2) 会議次第

- ①開会
- ②挨拶（内閣府大臣政務官（調整中））
- ③挨拶（静岡県知事）
- ④火山活動の状況について（気象庁、噴火予知連会長）
- ⑤避難の状況について（静岡県、山梨県、神奈川県）
- ⑥当面の主要課題への対応について（静岡県、国土交通省）
- ⑦火山専門家からの意見等（池谷氏、荒牧氏、鶴川氏、小山氏、里村氏）
- ⑧閉会